

令和8年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(共通)

別添	なし
----	----

応募概要	分野	音楽	種目	オーケストラ等
	応募区分	一般区分		
	複数応募の有無	無	応募総企画数	
	複数の企画が採択された場合の実施体制 ※			

※ 複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません(グレーアウトされます)。

文化芸術団体の概要

ふりがな	こうえきしゃだんほうじん やまがたこうきょうがくきょうかい		
制作団体名	公益社団法人 山形交響楽協会		
代表者職・氏名	理事長 板垣 正義		団体ウェブサイトURL
			https://www.yamakyo.or.jp/
制作団体所在地	〒	990-0828	最寄駅(バス停)
	山形県山形市双葉町1-2-38 やまぎん県民ホール内		
制作団体と公演団体が同一である場合はこちらにチェック	<input checked="" type="checkbox"/> ※チェックをつけた場合、下記公演団体の情報は記載不要です		
ふりがな			
公演団体名			
代表者職・氏名			団体ウェブサイトURL
公演団体所在地	〒		最寄駅(バス停)
制作団体 設立年月	昭和47年1月		
制作団体組織	役職員		団体構成員及び加入条件等
	理事28名 / 監事 2名 事務局員12名 (事務局長:西濱秀樹)		(1) 団体構成員 (山形交響楽団) / 指揮者:6名 楽団員:46名 (2) 加入条件 / 実技オーディション及び面接
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	他の業務と兼任の担当者を置く	本事業担当者名	西濱秀樹 (事務局長) 丹波功 (演奏事業部長)
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者	高橋美雪 (総務課長)
本応募にかかる連絡先	メールアドレス		電話番号
	nishihama@yamakyo.or.jp		0236166606

制作団体の実績	制作団体沿革・主な受賞歴	<p>1972年、東北初のプロ・オーケストラとして誕生。東京・大阪での「さくらんぼコンサート」など、年間150回に及ぶ多彩な演奏活動を展開。</p> <p>2007年、飯森範親(現 桂冠指揮者)の音楽監督就任を機に、名実共に東北地方のみならず日本の音楽文化を代表するオーケストラとしての地位を確立。2008年には、アカデミー賞映画「おくりびと」に出演。2017年「モーツァルト交響曲全集」CDを発売、第55回レコード・アカデミー賞(特別部門 企画・制作)を受賞し全国的な話題となる。</p> <p>2019年、山形に縁を持つ阪哲朗が常任指揮者に就任。2020年6月より、阪哲朗と「ベートーヴェン交響曲全曲演奏会」を開催。全集DVD制作とインターネット配信を通じて、山響新時代を発信した。2020年山形県総合文化芸術館開館を機に、山響は指定管理共同事業体に参画。「やまがたオペラフェスティバル」「文化の回廊フェスティバル」等、劇場と一体となった多彩な事業を展開。2022年、創立50周年を迎える。同年、演奏会形式オペラシリーズをスタート。阪とのオペラ演奏は高い芸術性と個性を育み、その成果は常に注目を集めている。2023年12月からは、動画配信サービス「U-NEXT」での映像配信を開始。</p> <p>常任指揮者 阪哲朗、首席客演指揮者 鈴木秀美、ミュージック・パートナー ラデク・バボラーク、創立名誉指揮者 村川千秋、桂冠指揮者 飯森範親、名誉指揮者 黒岩英臣。</p>	
	学校等における公演実績	<p>創立理念に「上質な生のオーケストラ演奏という感動体験を通じ子供達の創造的で逞しく、感性豊かな人間育成」を掲げ、創立以来延べ約5500校、310万人以上の青少年鑑賞実績を誇ります。</p> <p>※過去5年公演実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度 :「文化芸術による子供育成推進事業15公演、その他学校公演23公演」 ・令和5年度 :「文化芸術による子供育成推進事業10公演、その他学校公演58公演」 ・令和4年度 :「文化芸術による子供育成推進事業8公演、その他学校公演36公演」 ・令和3年度 :「文化芸術による子供の育成事業12公演、その他学校公演43公演」 ・令和2年度 :「文化芸術による子供の育成事業11公演、その他学校公演33公演」 <p>* 令和2年度は36公演中止・4公演延期*</p>	
	特別支援学校等における公演実績	<p>過去10年に40公演を山形県下で実施。文化庁公演では過去10回の実績があります。ワークショップ・体験・演目などは学校の皆様と相談し、特別プログラムを構成。好評をいただいています。</p> <p>※過去5年公演実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度 :「その他学校公演のみ2公演」 ・令和5年度 :「その他学校公演のみ2公演」 ・令和4年度 :「その他学校公演のみ4公演」 ・令和3年度 :「その他学校公演のみ4公演」 ・令和2年度 :「その他学校公演のみ4公演」 	

参考資料	申請する演目のWEB公開資料	有	
	※公開資料有の場合URL	https://youtu.be/FBBahMk8CUU	
	※閲覧に権限が必要な場合のID及びパスワード	ID:	
		PW:	

別添

あり

【公演団体名 公益社団法人 山形交響楽協会 】

対象

小学生(低学年)

○

小学生(中学年)

○

小学生(高学年)

○

中学生

○

企画名

The World of the Orchestra/20を越える楽器が織りなすオーケストラの世界
～時代を疾走するモーツァルト&鮮烈なサウンドが織りなす「火の鳥」の物語～

企画のねらい

【世界を繋ぐオーケストラの世界を全身で体感する・・・子ども達と作る一体感溢れる空間を目指して】
○53年間5400公演、300万人が体験した学校公演での実績を活かし、“体験”“LIVE感”“独自性”によってプログラムを構成。演者からの“こんにちは！”という挨拶からスタートするなどコミュニケーションを重視。多様な文化と出会う機会を共有する。
○全体は2部構成。第1部はオーケストラの探求旅行。“なぞなぞ”や演者の個性が光る楽器紹介・指揮者体験を通じて、全世界共通のオーケストラの世界を体感。共演と「火の鳥」を中心とした第2部では、想像力を喚起するオーケストラ体験を目指します。

演目概要・演目選択理由

【演目概要／アメリカ、日本、オーストリア、イギリス、ロシア・・・多彩な地域と時代の作品】
①アンダーソン：(1908-75アメリカ)：1951年作曲。オーケストラを世界に広めた代表作。華やかなサウンドでワクワクする幕開け
②村川千秋(1933-2025)：「動物組曲」／山響創立指揮者村川が”子供たちの想像力を音楽で紡ぎだす”ために作曲。
③④楽器紹介&指揮者体験：全ての楽器の音色を丁寧に紹介し、“指揮者コーナー(生徒参加)”によって、指揮者の役割も体験
⑤モーツァルト(1756-91オーストリア)：疾走するサウンドが魅力。アイドルSnow Manがアルバムに収録したことで脚光を浴びる。
⑥アーノルド(1921-2006イギリス)：映画音楽、吹奏楽など幅広く愛される作曲家の祖国への愛が伝わるチャリングな舞曲。
⑦共演コーナー：ボディーパーカッション(3つのトルコ行進曲)もしくは合唱・吹奏楽などとの共演曲／校歌共演
⑧ストラヴィンスキー(1882-1971)：ロシアの伝説を基にしたバレエ音楽。鮮烈なサウンドが描写する神秘的な世界で幕を閉じる。
⑨山形民謡「最上川舟歌」／日本で受け継がれる民謡、お祭りの曲を郷土色豊かに描く山響ならではの選曲。

【演目選択理由：子ども達と一緒に創るLIVE感を生む演目・・・感性に響く演目と多様な共演企画で構成】
○キラキラしたスタイリッシュなサウンドが魅力の「舞踏会の美女」で幕を開けるコンサート。
○楽団員全員からの“こんにちは！”という挨拶からスタートすることでコミュニケーションをスタートします。
○オーケストラの楽器構成は全世界共通であり、多彩な共演を通じて国際的な感覚を磨くことにも通じます。「音楽なぞなぞ」「指揮者体験」「楽器紹介」など参加・体験をふんだんに取り入れています。
○アイドルグループが注目したことで中高生の心を掴んだモーツァルト、吹奏楽でも人気のアーノルド等、キャッチーな話題も取り込み、自然と異文化を体験していくことが出来る演目で構成です。
○20もの楽器の音色が生み出すオーケストラ。その色彩感と表現力が「火の鳥」の物語を描きます。想像の翼を羽ばたかせる“ハッ”とするような20世紀の最高傑作の一つは、これまでに大盛り上りのエンディングを生み出してきました。
○アメリカ、オーストリア、イギリス、最後は山形の民謡をオーケストラで奏で、“故郷”への想いを伝える内容です。

児童・生徒の参加または体験の形態

＜共演は”一期一会”のイノベーション！＞＊共演は学校のご要望に応じて①～③から選択いただくことが出来ます＊
①ボディーパーカッション：“トルコ行進曲”をテーマにモーツァルト、シューベルト、ベートーヴェンのリズムを体験！
②音楽の授業や合唱コンクールに向けて練習してきた合唱作品で、オーケストラと共演。
③吹奏楽部や管弦楽部の皆さんが日々練習している曲に、オーケストラメンバーが加わり共演いたします。
○校歌を、学校の先生が指揮するフル・オーケストラの伴奏で歌っていただきます(全公演共通実施)
○公演演目の”音楽なぞなぞ”は会場全体が参加できるアトラクション。”指揮者体験”では2名の生徒が指揮者に挑戦！

児童・生徒の参加可能人数

本公演

参加・体験人数目安

吹奏楽部との共演：20名前後(目安)

鑑賞人数目安

～600人(柔軟に対応します)

本公演演目

原作/作曲
脚本
演出/振付

【第1部：The World of the Orchestra・・・世界共通！20種類の楽器と60人の音楽家が奏でるオーケストラの世界】
～世界中で愛されるアンダーソンの傑作で幕開け！・・・コンサートが始まる！～
①アンダーソン：舞踏会の美女(3)
～山響でしか体験できない・・・子ども達への想いを綴った村川千秋の作品／歓声で包まれる会場～
②村川千秋：ちいさな友達のための音楽なぞなぞ遊び「動物組曲」より【音が描く動物達・山響オリジナル！】
③楽器の音色を紹介！・・・弦楽器(「アイネクライネ」)／木管／金管／打楽器の世界を旅しよう！
④指揮者に挑戦！“音を出さない音楽家＝指揮者”を体験する(最大2名)”歌劇「カルメン」～闘牛士を指揮しよう！”
～”Snow Man”4thアルバムで再び脚光を浴びたモーツァルトの疾走する傑作・・・250年の時を越えて～
⑤モーツァルト：交響曲第25番 ト短調より第1楽章(5)

【第2部：Mysterious Story・・・北欧とロシアの伝説を描いた世界&皆さんとオーケストラのコラボレーション】
～吹奏楽・映画音楽の世界でも愛され続けるアーノルドによる英国の舞曲～
⑥アーノルド：イギリス舞曲第2集から第1曲(3)
⑧オーケストラと共演！／☆全校共通：校歌演奏・共演(指揮は、学校の先生に！＊当日リハーサルが必要)
☆各校独自の共演プログラムは上記「共演・参加形態」欄①～③から選択可能です！
～オーケストラサウンドの魅力がいっぱいに詰め込まれた20世紀の傑作バレエ音楽・・・情景が心に揺る～
⑨ストラヴィンスキー：バレエ組曲「火の鳥」より「魔王カスチエイの凶悪な踊り」「子守歌」「終曲」(10)
⑩故郷への想いを込めて・・・山形県民謡(村川千秋編曲)：最上川舟歌～花笠音頭(2)

公演時間

90

分

出演者	○指揮者・お話し：碓山 隆一郎 ○指揮者・お話し：喜古 恵理香 ＊文化庁巡回公演・山響スクールコンサートなどで経験を持つ指揮者2名・開催日程によって調整予定＊ ○司会・構成：西濱 秀樹（山形交響楽団専務理事）／南條 幸熙・大河原 悠生（ステージマネージャー） ○管弦楽：山形交響楽団（ 2管 10 型・ 61名） ＊出演者プロフィール詳細は別添資料を参照ください＊							
演目の芸術上の中核となる者（メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等）の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度／名	○碓山 隆一郎（指揮者）：2015年より渡独、指揮を学んだ後、合唱やオペラの分野でも研鑽を積む。帰国後は全国主要オーケストラと数多く共演。山響ともスクールコンサートはじめ、多くのステージで共演を重ねている。 ○喜古 恵理香（指揮者）：2022年、広島で開催された次世代指揮者コンクールにて第3位入賞、同時に聴衆賞、オーケストラ賞を受賞。山響ほか全国各地のオーケストラと客演を重ねている。 ○西濱秀樹（楽団専務理事／企画統括）：楽団員との企画委員会統括。本事業には2016年から携わる（2000年から2011年は別楽団にて）。							
本公演 従事予定者数 （1公演あたり） ※ドライバー等 訪問する業者人数 含む	出演者： 63 名 スタッフ： 6 名 合 計： 69 名		運搬		積載量： 3 t 車 長： 7.2 m 台 数： 2 台			
本公演 会場設営の所要 時間 （タイムスケジュール）の目安	前日仕込		無		前日仕込所要時間		午前中公演の場合 前日夕方2時間程度	時間程度
	到着	仕込	上演	内休憩	撤去	退出		
	【午後公演】 9:30 【午前公演】 前日16時	【午後公演】9:30-11:30 【午前公演】8:00-9:00	【午後公演】 13:30-15:00 【午前公演】 10:30-12:00	10分	【午後公演】 15:00-16:30 【午前公演】 12:00-13:30	【午後公演】16:30 【午前公演】13:30		
	※本公演時間の目安は、概ね2時限分程度です。							
	6月		7月		8月		9月	
本公演 実施可能日数 目安 ※実施可能時期については、採択決定後に再度確認します（大幅な変更は認められません）。	5日							
	10月		11月		12月		1月	
	7日		8日					
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。				計		20日	

公演に係るビジュアルイメージ
(舞台の規模や演出がわかる写真)

※会場条件について最低限必要な条件がある場合には、様式No.4内「会場簡易図面」を記載してください。



<公演全体イメージ>

- 演奏に必要な広さは、幅16メートル奥行9メートルです。
- このように、管楽器には持込の平台、及び体育館ステージを活用して配置します。*ステージが使えない場合も対応可能です。
- 椅子100脚、長テーブル8台、マイク2本、控室4室のご準備をお願いできれば幸いです。*ピアノは電子ピアノ持込
- 体育館が2階以上の場合は、搬入・搬出時のサポートをお願いできれば、大変ありがたく思います



音楽なぞなぞ遊び



体全体で音楽を体験



みんなで指揮をしてみよう！



オーケストラに合わせて校歌を歌おう



金管アンサンブル



ワークショップ：楽器の紹介

著作権、上演権等の許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続の要否		該当なし	該当コンテンツ名	
	該当事項がある場合	権利者名			
				許諾確認状況	

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添

なし

【公演団体名 公益社団法人 山形交響楽協会 】

ワークショップの
ねらい

<企画趣旨(コンセプト)>

多くの子ども達にとって、本公演は”初めてのオーケストラ体験”かもしれません。

児童生徒の皆さんにとって、より身近な体験機会となるワークショップが、

①本公演を、より楽しむ為の予備知識を自然に獲得できる場とする

②オーケストラの魅力を凝縮したアンサンブルによるワークショップから、60名の音楽家で構成されるオーケストラ本公演に対する期待を膨らませる時間とする

③吹奏楽との共演に向けて行うプロの指導によって、生徒さんの音楽的成長の契機となる

60名の音楽家集団オーケストラは、弦楽器・木管楽器・金管楽器・打楽器で構成されています。

ワークショップを「本公演が充実した時間になるための準備」として捉え、ワークショップを通して子どもたちが本公演に対して「わくわく・ドキドキ」するような期待を膨らましつつ、実際にオーケストラで奏でられる音楽に触れた時、演奏に集中して楽しむための予備知識を自然と獲得出来る場に出来ればと考えています。

児童・生徒の
参加可能人数

ワークショップ

参加人数目安

～600名程度

ワー
ク
シ
ョ
ッ
プ
の
内
容ワークショップ
実施形態及び内容

<オーケストラを構成する楽器の不思議を探求！・・・弦楽器・木管楽器・金管楽器>

”オーケストラ”は、全世界共通のUniversalな表現者集団／その魅力を身近に体験してみよう！

●出演者：弦楽器、木管楽器、金管楽器の山響メンバー3名とナビゲーター（山響事務局）で構成

●特色・構成・内容：楽器体験を交えて、以下のような内容構成で進行していきます

1.【ご挨拶・自己紹介】(3分)：メンバー紹介をいたします。

2.【演奏①】(5分)：出演者全員による演奏をお聴きいただきます。

3.【オーケストラとは？】(2分)

オーケストラと言う言葉の意味や、楽器編成などをご説明いたします。

4.【弦楽器の紹介：木の胴体の役割・弦や弓は何で出来ている？ などなど】(6分)

弦楽器を紹介し、音が出る仕組み等を説明いたします。

5.【木管楽器の紹介：息を吹き込む”リード”。その原理を体験理解！】(6分)

木管楽器を紹介し、それぞれの音の出し方の違いなど、ストローリード等を生徒さん自身が体験しながら、わかりやすく説明いたします。

6.【金管楽器の紹介：マウスピースの秘密・・・金管楽器の仕組み】(6分)

金管楽器を説明し、ゴムホースホルンなどを使いながら音が出る仕組みなどを説明いたします。

7.【演奏②】(3分)：①で聴いた時より、各楽器の音色の違いなど”感じ方の変化”が生まれることでしょう。

8.【楽器体験】(10分)弦・木管・金管楽器の楽器体験をしていただきます。

9.【質問コーナー】(10分)：皆さんの疑問・質問にお答えいたします。

10.【ワークショップのまとめ】(5分)：本日のまとめと60人の音楽家による本公演への期待を膨らませます。

11.【演奏】(3分)：締めくくりとして演奏をお聴きいただきます。

【予定時間60分間】

<本公演共演企画で、吹奏楽部とオーケストラ共演を希望される場合>

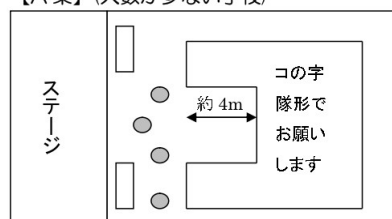
※吹奏楽部との共演希望の場合、ワークショップ終了後、1時間の楽器演奏指導を行います。

※アンサンブル指導・楽器指導は、ワークショップ参加メンバーによって行います。

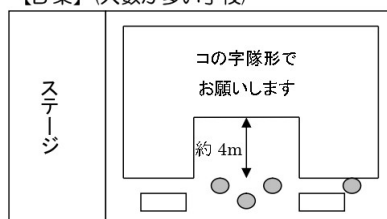
その他ワークショップに
関する特記事項等

体育館の配置は演奏上及び子供との距離感重視のため、下記のように「コの字」隊形をお願いしております。体育館の形状、児童生徒数に応じどちらかの形をお選びください。

【A 案】(人数が少ない学校)



【B 案】(人数が多い学校)



※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

一般区分・特別エリア区分共通
No.4(共通)

別添	なし
----	----

【公演団体名 公益社団法人 山形交響楽協会 】

記載方法等

例年、実施校の状況等により公演実施要件を満たさないことに起因するトラブルが一定数生じています。※以下は、過去実際にあった例です。
・会場が狭く、予定していた規模の公演が実施できなかった。
・搬入車両が構内に入らず、搬入のための追加費用が生じてしまった。
・児童・生徒が時間外の練習を行うことができず、児童・生徒の体験の範囲が限定的なものとなってしまった。
上記のように、公演実施要件を満たさない学校とのミスマッチングを防ぐため、公演実施に際して必要な条件を御記載ください。
任意項目については、学校に伝えるべき条件がない場合には記載不要です。
詳細な実施条件は、実施校との調整段階にて直接確認をいただくことになります。
なお、特段条件を必要としない項目や未定の項目については「条件なし」を選択、または記入してください。

会場条件

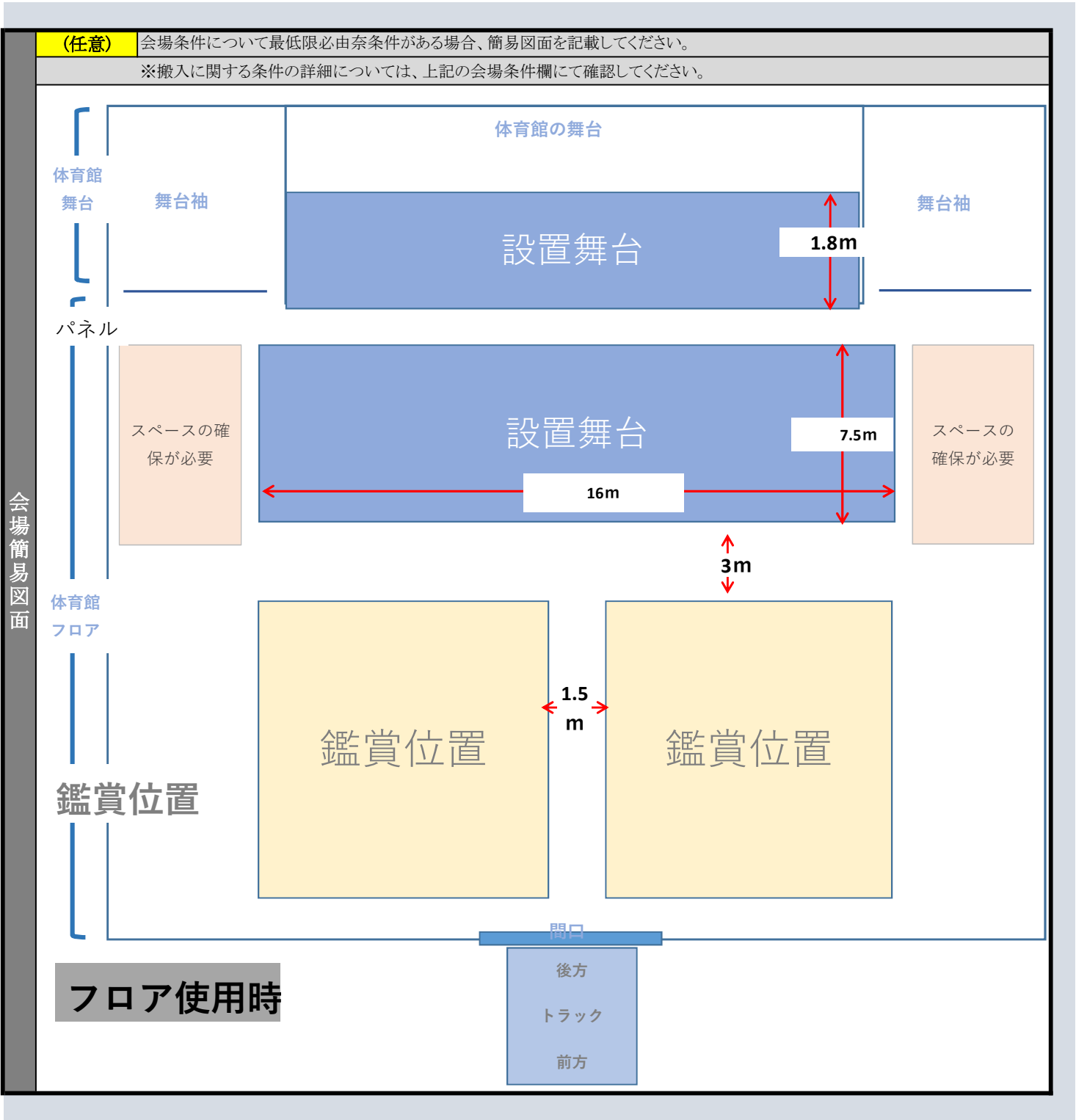
(必須)	公演実施にあたり、必要な会場条件を記載してください。									
会場の設置階の制限		2F以上応相談		主幹引き込み電源容量				A以上		
舞台設置面積	間口	16 m		奥行	9 m					
	高さ	m								
舞台設置場所	フロア対応	可		学校のステージでの対応			不可			
搬入間口の広さ	幅	1.6 m		高さ	2 m					
遮光の要否	5割程度必要		緞帳の要否			不要				
ピアノの使用について	使用しない		ピアノを使用する場合の設置位置の指定							
			ピアノを使用しない場合の移動の要否			要				
搬入車両(トラック等)の横づけ	応相談		トラック横づけ不可の場合の搬入対応可能距離				m以内			
搬入車両の種類	中型トラック		台数	2 台						
搬入車両の大きさ	車幅	2.2 m		車長	7.2 m					
備考										

※表から数値を取得しますので、セルの結合や行の挿入・削除は行わないでください(幅や高さの調整は問題ありません)。

学校からの情報	(任意)	学校からの提出を求める資料がある場合のみ記入してください。	
		会場図面の提出要否	
		その他提出が必要な資料 (搬入間口や搬入経路の写真の提出等)	

時間外対応	(任意)	万が一、ワークショップや本公演のための児童・生徒の練習や製作物の作成に係る時間が、ワークショップや本公演の時間以外に別途発生する場合には、必要となる練習時間や製作時間等を必ず明示してください。				
	なお、一部の児童・生徒のみが授業を抜けてリハーサル等や練習を行う必要がある場合は、実施校とのトラブルを避ける観点からもその旨を必ず記載してください。					
	※上記の際は、対象となる児童・生徒の保護者の方への事前連絡や御了承を得る必要があるか否か等含め学校と十分に調整をしてください。なお、その際、代表以外の児童・生徒へもご配慮ください。					
		対象	所要時間(分)	時間帯	内容	備考
	ワークショップ					
	ワークショップ					
	本公演					
	本公演					

個別確認事項	(任意)	上記条件や資料以外に、公演実施に当たって学校へ個別の確認が必要な事項がある場合、記載してください。	
		個別ヒアリング事項	
	1		
	2		
	3		



別添

なし

【公演団体名 公益社団法人 山形交響楽協会 】

本事業への応募理由等

本事業を通じて実現したいこと、また当該工夫

【本事業を通じて実現したいこと】

<オーケストラ体験を通じて・・・異文化理解&舞台芸術により想像力を育む>

○「オーケストラは敷居が高い」「縁遠い」などの言葉を耳にします。創立以来53年間にわたり延べ5400回・300万人の子ども達にオーケストラ演奏を届け続けてきた山響。その中で、体験前と体験後で大きく変わる子ども達の姿を目の当たりにしてきました。

☆ライブ感・・・62名の音楽家が奏でる“生の躍動”を子ども達の心に届ける

☆多彩なサウンドが生み出す表現力が子ども達に想像力・創造力を刺激する

☆作品は、世界中で歴史を越えて生まれ愛されています。世界共通言語であるオーケストラ音楽(楽団の編成は共通であり作曲家はそれに基づいて創作する)を通じて、世界共通の想いと、地域・時代が生み出した多様な文化を体感する機会を作る。

～以下に述べる創意工夫によって子ども達を巻き込む一体感ある進行で、先入観なく”わかるわからない”ではない感動を届けたいと、本事業を企画しています。

【上記の実現に向けて、実施の工夫】

<特色:会場一体となる構成・・・参加・共演を織り交ぜ子供達を巻き込む進行>

①キラキラした「舞踏会の美女」で幕開けた後、“こんにちは！”という楽員からの挨拶

②山響オリジナルの”音楽なぞなぞ”やメンバーが会場をフルに活用する楽器紹介、指揮者体験”、吹奏楽・合唱やボディーパーカッションによる共演、校歌合唱では先生が指揮するなど、多彩な参加プログラムとコミュニケーションが生まれる進行(指揮者・楽団を熟知した専門スタッフ・楽団員によるトーク)によって構成しています。

③事前ワークショップは、メンバーが学校を訪問して、体験を通じ楽器の秘密・アンサンブルを知る機会となり、本公演での作曲家・オーケストラへの興味を喚起します。

④2025年、アイドルグループがアルバムに収録したことでZ世代が注目したモーツァルト作品、アニメで使われたクラシック(アイネクライネ)に加え、吹奏楽で著名な作曲家、物語が浮かぶような鮮烈なサウンドが魅力の「火の鳥」などでプログラムを構成。

【学校との連絡調整について】

【ご多忙を極める学校の先生方との綿密なコミュニケーションを軸に】

○開催が決まった学校には、「開催の手引き」をもとに、ワークショップから本公演終了までの流れを把握いただきます。

○ワークショップ・本公演の意識付けのため、①当団の定期演奏会のポスター等をお送りしご掲示いただく②配信映像(ネット上で公開)の鑑賞など事前学習としてご覧いただく等、期待感を高めるサポートもご要望に応じ行います。

○ワークショップまでは、お電話・FAX・メールにてのご連絡となりますが、必要があれば、直接お伺いし、打合せをさせていただきます。

○ワークショップでは子ども達と楽しくコミュニケーションしながら、本公演への期待を膨らませて、先生方とは演奏会がより効果を産みますよう、詳細な打合せをさせていただきます。

○当楽団には、担当スタッフが2名おります。先生方の疑問やリクエストにお応えできる体制を準備しておりますので、成功に向けて、一緒に取り組みればと願っています。

～ご多忙のところ、お手間をおかけしますが、ご協力をお願いします～

事業を適切かつ円滑に実施するための工夫

【対象児童・生徒に応じた工夫や留意点について】

○弊楽団は、山形県内でも特別支援学校公演を継続的に実施するなど多様な生徒の皆様への対応について豊富な経験を持ちます。ワークショップの機会などを通じて、ご意見とご要望をお聞かせください。特別プログラムの編成(特別支援学校➡短縮プログラムなど)など、ご相談の上でご要望にお応えできるように最善を尽くします。

○アニメ、ドラマでの話題やアイドルグループが発信したクラシック、いわゆる一般的な名曲に止まらない、現代の子ども達の感性を刺激する作品によって、プログラムも構成しています。

楽器紹介ではゲーム音楽を取り入れたという工夫も

【本公演等実施後の児童・生徒への継続的な学びについて】

○山形交響楽団では、コロナ禍以降、独自のYouTubeチャンネルを開設。映像配信を強化しています。ワークショップ、本公演を通じて興味・関心を持ってくださった生徒の皆様にもご活用いただける内容となっています。

○ベートーヴェンの交響曲だけではなく、村川千秋作曲の「動物組曲」など、多彩な内容となっていますので、是非活用いただきたく、願っています。

別添 ※別添は1企画当たり3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。

リンク先	No.2	【公演団体名 公益社団法人 山形交響楽協会 】
------	------	-------------------------

別添メンバー表・プロフィール

山形交響楽団 *YAMAGATA SYMPHONY ORCHESTRA*



映像配信サービス
U-NEXT



You Tube
チャンネル



1972年、東北初のプロ・オーケストラとして誕生。山形テルサ・酒田・鶴岡での定期演奏会、東京・大阪での「さくらんぼコンサート」、山形県下で毎年3万人以上の青少年に“感動”を届けるスクールコンサートなど、年間150回に及ぶ多彩な演奏活動を展開。

2007年、飯森範親（現 桂冠指揮者）の音楽監督就任を機に、名実共に東北地方のみならず日本の音楽文化を代表するオーケストラとしての地位を確立している。2006年、オーケストラの自主レーベルとしては日本初となるCDレーベル『YSO live』を立ち上げ、2007年から2015年まで8年半にわたる壮大なプロジェクト、「アマデウスへの旅」（モーツァルト交響曲全曲演奏会）を開催、2008年には、アカデミー賞映画「おくりびと」に出演。2017年「モーツァルト交響曲全集」を発売、第55回レコード・アカデミー賞（特別部門 企画・制作）を受賞し全国的な話題となる。

2020年6月より常任指揮者 阪哲朗とともに「ベートーヴェン交響曲全曲演奏会」を開催、全集DVD制作とインターネット配信で山響の新たな魅力を発信している。2022年、創立50周年を迎えた。2023年12月からは動画配信サービス「U-NEXT」での映像配信を開始。

常任指揮者 阪哲朗、首席客演指揮者 鈴木秀美、ミュージック・パートナー ラデク・パボラーク、創立名誉指揮者 村川千秋、桂冠指揮者 飯森範親。

指揮者：碓山 隆一郎



鹿児島県喜界島出身。東京音楽大学指揮科卒業、同大学大学院（指揮）修了。広上淳一、汐澤安彦の各氏に師事。2015年よりドイツ・マンハイム音楽大学でオーケストラ指揮を学び、南西ドイツ・フィルハーモニー交響楽団、オペラ・プロヴディフ・シンフォニーオーケストラ等と共演。2017年からは拠点をダルムシュタット音楽アカデミーに移し、合唱指揮者としても研鑽を積む。2018年、ヴィルヘルム・ベーターゼン協会主催、ベーターゼン作曲オペラ「黄金の壺」を指揮。2019年、ヴォルフガング・シェーファース氏の合唱セミナーに参加しシェーンベルク作曲モノドラマ「期待」を指揮。帰国後は札幌交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、山形交響楽団、群馬交響楽団、バシフィックフィルハーモニー東京、横浜シンフォニエッタ、オーケストラ・アンサンブル金沢、愛知室内オーケストラ、中部フィルハーモニー交響楽団、九州交響楽団等に多数客演を重ねている。現在、リゅーとびあ新潟市民芸術文化会館「新潟市ジュニアオーケストラ教室」指揮者。また、茨城県民オペラ協会とのブッチェニ作曲「ラ・ボエーム」の上演や、若手オペラ歌手による団体を組織するなど、積極的にオペラ作品にも取り組んでいる。

指揮者：喜古 恵理香



東京音楽大学及び同大学院に学び、これまでに指揮を広上淳一、汐澤安彦、下野竜也、田代俊文、三河正典の各氏に師事。在学中、オーケストラ・アンサンブル金沢主催の井上道義氏による指揮者講習会にて優秀者に選出され、同講習会でのリレーコンサートに出演。2017年からNHK交響楽団よりバーヴォ・ヤルヴィ氏のアシスタントに任命され、2年間アシスタントコンダクターを務めた。また2016年から4年間、京都市ジュニアオーケストラの活動に副指揮者として携わる。2022年には広島で開催された次世代指揮者コンクールにて第3位入賞、同時に聴衆賞、オーケストラ賞を受賞。全国各地のオーケストラへ客演を重ねている。

オペラの分野ではNISSAY OPERA「アイナダマール」の日本初演に携わったことをきっかけに同劇場の数々の公演、藤原歌劇団、二期会、新国立劇場、びわ湖ホールなどのプロダクションで副指揮者を務めた。びわ湖ホール主催「泣いた赤おに」では、びわ湖ホール声楽アンサンブルを指揮、2024年の鹿児島オペラ協会主催「ロジ・ファン・トゥッペ」では全国からのオーディションで選ばれた歌手と共演、好評を博した。

楽団員

■ソロ・コンサートマスター	黒瀬 美	渡邊 研多郎	■ファゴット	■チューバ
高橋 和貴(予定)	杉山 亮佑	・未定	★上野 健	★久保 和憲(予定)
■コンサートマスター	常盤 郁子	■コントラバス	鷺尾 俊也	■ハープ
平澤 海里	丸山 倫代	★未定	■ホルン	・未定
■第1ヴァイオリン	・未定	柳澤 智之	★井澤滉一	■ピアノ&チェレスタ
五十嵐さやか	■ヴィオラ	米山 明子	岡本 和也	・未定
石井万里子	★成田 寛(予定)	・未定	関谷 智洋	■ティンパニ&打楽器
沈 青	★山中 保人	■フルート	矢吹 日香理	★常盤 紘生
豊田 泰子	井戸 健治	★知久 翔	■トランペット	平下 和生
中島 光之	倉田 譲	小松崎 恭子	★井上 直樹	三原 千加
・未定	田中 知子	・未定	松岡 恒介	・未定
・未定	・未定	■オーボエ	・未定	・未定
・未定	■チェロ	★柴田 祐太	■トロンボーン	
■第2ヴァイオリン	★小川 和久(予定)	土屋 愛菜	★太田 涼平	
★館野 やね(予定)	★金子 鈴太郎	■クラリネット	篠崎 唯	★首席奏者
★堀越 瑞生	久良木 夏海	★川上 一道	高橋 智広	★首席客演奏者
今井 東子	茂木 明人	萬代太紀		・客演奏者

出演者一覧